

講習会だより

○秋晴れの気分爽やかな中、生涯学習センターにおいて秋冬の庭作業を対象とした講習会を開催いたしました。今回はこの時期に手入れをする庭木の中から、中庭の植え込みにあるハナミズキの整姿剪定と、竹垣の遮蔽垣として最も作例が多く、古くから親しまれている建仁寺垣の作製実習を行ないましたので、その一端をご紹介します。（今回は作業手順が分かるようにスライド式にしました。）

本日のテーマの一つハナミズキの剪定実習の開始です。



真剣に不要枝の剪定中です、位置を確認しノコギリを踊らせないように！



上部の剪定は安定が悪いので、梯子から乗り出さないよう慎重にします。



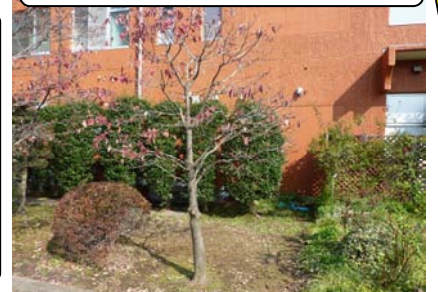
左右の柱に元節止めと末節止めを交互に止めます、節の位置を間違えないように寸法を確かめ胴縁の作成中です。



寸法通りに切った竹を割り、立子の作成中です。



剪定作業が終了しました、切り口の癒合殺菌処理も万全です。



胴縁の取り付け中です、柱に沿わせる斜め切りは難しいですよ。



丁寧に慎重に、立子の取り付け中です。



枝芽の位置に気をつけながら、太めの竹を割って押縁と笠竹を作ります。



ここまで剪定作業



♪♪♪完成直前の記念撮影です♪♪♪

これから押縁結びと玉縁飾り結びを取り付けて仕上がりです。

このサイズは造園技能士試験一級の実技のものと同じで、これが時間内に規定通りできれば立派な技術です。

近年人工物が増えてきましたが、生竹を割り・釘を打ち・棕櫚縄で縛る基本動作は貴重な財産です。

日の入りが早くなり朝晩は寒さを感じられるこの頃ですが、当日は過しやすく屋外の作業でも快適な一日でした。参加された14名の皆さん、大変熱のこもった実技講習でお疲れ様でした。

2012.10.27 (土) 晴れ 21℃/15℃